

都市フォーラム30号

東北都市学会通信（通巻30号）

2016年9月1日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

主なトピック

- ・東北都市学会 2016 年度大会のお知らせ
- ・2016 年度大会発表等の申し込み
- ・石巻支部会の活動
- ・2015 年度会員会を開催
- ・日本都市学会 2016 年度大会のお知らせ
- ・『研究年報』第 15・16 合併号の発行
- ・『研究年報』第 17 号論文の募集
- ・会員の状況
- ・2016 年度会費納入のお願い
- ・事務局から

東北都市学会 2016 年度大会のお知らせ

2016 年度東北都市学会大会は、**2016 年 11 月 19 日(土)～20 日(日)に、福島市アクティブシニアセンターA・O・Z(福島駅東口)で開催**いたします。19 日の午後に大会テーマに関するワークショップ(予定)、理事会および懇親会を行い、20 日午前に会員会及び研究発表を行います。

会員の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。大会要項は次のとおりです。自由研究発表への申込みもお待ちしております。**参加の可否については、電子メール、または同封の葉書で 10 月 14 日(金)(必着)までにご返送下さい。**

[2016 年度大会開催要項]

日程 11 月 19 日(土)～20 日(日)

会場 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z
[プログラム] (予定)

19 日(土)

- 13:00～13:40 理事会
- 13:50～14:30 会員会
- 14:40～17:30 ワークショップ (参加費 1,000 円)
- 18:00～20:00 懇親会 (会費 5,000 円)

20 日(日)

- 9:00 受付開始
- 9:30～11:30 研究発表

2016 年度大会研究発表の申し込み

2016 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。以下の発表申し込み要領、発表要旨作成要領ならびに発表要領をご覧の上、電子メール、または同封の発表申し込みハガキに必要事項を記入し、学会事務局にお送り下さい。

[発表申し込み要領]

- ・発表の申し込みはできるだけ電子メールを使用して下さい。
tabuchi@fukushima-nct.ac.jp
- ・発表申込締切は **10 月 14 日(金)**です(必着)。
- ・共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者には○印をつけて下さい。また、発表者は 4 人以内とします。
- ・取消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

[発表要旨作成要領]

発表要旨は次の要領で作成してください。

- ① A4 サイズの用紙を使い、ワープロで作成しプリントアウトして下さい。印刷余白は上下左右とも 25mm とって下さい。
- ② ページ設定を 40 字×40 行にしてください。
- ③ 発表題目は 16 ポイント・ゴシックに指定し、センターに置いて下さい。副題は 12 ポイント・ゴシックにしてください。
- ④ 名前(所属)は 12 ポイントにし、右に揃えて下さい。
- ⑤ 題目と名前の間、および名前と本文の間に 1 行余白を入れて下さい。
- ⑥ 本文は 12 ポイントにしてください。
- ⑦ 要旨は、A4 用紙 2 枚に収めて下さい(一人分です。共同の場合は 6 枚以内です)。
- ⑧ 要旨はなるべく電子メールによる添付ファイルで提出してください。郵送の場合は、A4 の用紙を折らないように大きい封筒をお使い下さい。

⑨ 発表申込締切は10月14日(金)です。発表要旨の送付締切日は11月4日(金)です。厳守をお願いします。

⑩ 要旨のフォーマットは学会HPに掲載しますので、そちらもご活用ください。

要旨の送付は電子メールを使用して下さい(tabuchi@fukushima-nct.ac.jp)。

[発表要領]

- ・ 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- ・ 個人発表の場合は発表、質疑応答、交代時間を含めて30分とします。共同発表も同時間とします。
- ・ いずれも時間を厳守して下さい。
- ・ 発表の際には、発表レジュメあるいは発表資料をできるだけ用意して下さい。

石巻支部会の活動

ベガルタ仙台の斎藤美和子会員、石巻専修大学の佐々木会員を中心に活動が行われました。2015年は諸般の事情により第1回10月27日、第2回12月18日の2回の開催となりましたが、ゲストスピーカーを迎えて「コンパクトシティ」についての勉強会も行われました。また、佐々木会員を新支部長に迎えた本年度は、すでに第1回4月15日、第2回7月27日と例年どおり活発な活動が行われています。第3回は10月4日開催予定です。

文末になりますが、関係者の皆様方に深く御礼を申し上げます。

2015年度会員会を開催

2015年度の会員会を2015年11月29日に開催しました。会員会の議事は次のとおりです。

1. 2014年度事業報告
2. 2014年度決算(案)
3. 2015年度事業報告(案)
4. 2015年度予算(案)
5. 次年度大会について
6. 2017年度日本都市学会東北開催について
7. その他(会員の状況など)

報告事項では理事会、2014年度大会、石巻支部会の報告、学会通信および研究年報の発行が報告されました。

日本都市学会 2016年度大会のお知らせ

2016年度日本都市学会大会は、10月28日(金)・29日(土)・30日(日)に、愛知県岡崎市の岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)にて、岡崎市の後援を得て開催いたします。28日の午後に3コースに分かれて岡崎市内のエクスカージョン、29日午前に研究発表Ⅰ、午後にシンポジウムおよび総会、30日に研究発表Ⅱが行われます。日本都市学会員の皆様のご参加をお待ちしています。

『研究年報』第15・16合併号の発行

『研究年報』第15・16合併号が発行されました。投稿論文7本から構成され、今秋各会員に郵送されました。また、続いて第17号も2017年度中の発行に向けて編集作業を進めています。

『研究年報』第17号論文の募集

『研究年報』第17号は2017年度中の発行を目指し、論文を募集しています。また、13号から継続している東日本大震災関連の特集論文の募集も同時に行っておりますので、投稿ご希望の方は学会事務局までお問い合わせください。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおして、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールド・ノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。投稿にあたっては、研究年報各号に掲載している[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記『研究年報』編集委員会宛にお送りください。なお、従来のような紙媒体による投稿に限らず、Word形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。

『研究年報』編集事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
田淵義英研究室気付
E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

会員の状況 2016年8月末現在

一般個人：74 一般学生：3 団体：3
(日本都市学会会員 80)
地域個人：29 地域学生：3

合計会員数 112

2016 年度会費納入のお願い

2016 年度の会費納入をお願いします(過年度分も含む)。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。また、3 年以上滞納されている会員の方には別途、連絡いたします。

なお、会費請求書は大会案内時に同封いたしますので、郵便振替あるいは銀行振込でお支払い下さい。会費は次のとおりです。

[会費]

一般個人会員 9,000 円

地域個人会員 5,000 円

一般学生会員 7,000 円

地域学生会員 3,000 円

団体会員

東北都市学会費 10,000 円×口数+日本都市学会費 4,000 円

[納入方法]

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店
(普) 5253861 東北都市学会 会長 増田聡

東北都市学会役員 (2014.10~2016.11)

会長 増田 聡:【本部支部会長理事】
理事 北原 啓司(青森)
理事 石沢 真貴(秋田)
理事 佐藤 慎也(山形)
理事 吉野 英岐(岩手):編集担当
理事 千葉 昭彦(宮城):【本部支部選出理事】
理事 初沢 敏生(福島)
理事 岩動 志乃夫:研究活動担当
理事 齊藤 美和子
理事 佐藤 信夫
理事 佐藤 直由
理事 田淵 義英:【本部常任理事】
理事 仙台市
(担当:企画市民局総合政策部政策計画課)
理事 仙台エリアマーク事業協同組合
(担当:松本 真明)
監事 阿見 孝雄・齋藤 綾美

※研究専門委員

岩動志乃夫(委員長)、加藤 渉、齊藤美和子、佐藤直由、高橋英博、土屋純、初沢敏生、日野正輝、若月昇、松本行真

事務局から

- ▼ 『都市フォーラム』は会員の皆さまのお手元に届く少し前には、HPでもご覧になれます。
- ▼ 2016 年度日本都市学会大会は 10 月 28 日(金)・29 日(土)・30 日(日)の3日間、愛知県岡崎市の岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)にて開催します。
- ▼ 『研究年報』第 17 号は自由投稿論文に加え、引き続き震災関連の調査研究報告の特集を行います。多くの会員の皆さまからの応募をお待ちしております。
- ▼ 2017 年度の日本都市学会は東北地区で開催されます。2017 年 10 月 27 日(金)~29 日(日)、石巻市での開催を予定しておりますので、ぜひご参加下さい。

都市フォーラム 30 号

東北都市学会通信

2016 年(平成 28 年)9 月 1 日発行

編集発行 東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科

田淵義英研究室気付

Tel 0246-46-0857 (直通)

E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html

2016 年度東北都市学会大会 都市基盤整備と新しいまちづくり

東北都市学会会長 増田 聡

東日本大震災以降、東北地方の各都市では急ピッチで都市基盤整備と新しいまちづくりが進められている。この背景としては、様々な震災からの復旧・復興事業が街の姿を大きく変えるとともに、都市間・地域間の人の流れをも大きく変化させ、新しい都市間関係を作り出しつつあることがある。「復興高速道路」の建設と都市商圏の再編は、その代表例の一つである。各都市はこのような動きに対応し、新たなまちづくりを進めている。

今年の福島大会においては、福島市を事例として「復興高速道路」(東北中央自動車道の一部を構成する相馬・福島道路約 45km と、自動車道の福島一米沢間約 28km)の建設がもたらす影響と、それを受けての新しいまちづくりについて、検討を加える。

「復興高速道路」は国土交通省が管轄している自動車専用の高規格道路で、被災した沿岸地域の復興を加速化させるとともに、災害時の救援活動や避難行動などにも活用することを目的としている。福島 JCT-相馬 IC 間には 6 つの、福島 JCT-米沢 IC 間には 1 つの IC が建設される予定である。この道路の形態は一般の高速道路と同じであるが、料金は無料であり、自由に通行できるという利点がある。福島 JCT-米沢 IC 間と霊山 IC-相馬西 IC 間は 2017 年度中(相馬西 IC-相馬 IC 間は 2018 年度中)の開通が予定されており、2020 年度には全線が開通する。全線開通後は福島-相馬間は約 40 分、福島-米沢間は約 30 分で結ばれることとなり、人と物の流れが大きく変化することが予想される。

これに備えて、福島市及びその周辺地域では、新しいまちづくりが進められている。

新しい IC 建設が予定されている福島市大笹生地区は、かつてオフィスアルカディア構想地区として整備がすすめられたが、必ずしも十分な企業集積は得られなかった。今回の IC 建設を契機に、道の駅建設など新しい地域整備が行われている。また、2017 年度に開業が予定されている伊達市霊山 IC 周辺地域では、大笹生 IC に先駆けて道の駅整備がすすめられ、現在では特産品開発のための地域住民の組織化などが進められている。

このような動きは IC 周辺地域にとどまらない。高速交通機関の整備は都市間競争を激化させるため、中心市街地の機能を高度化させることが必要になる。これに対応するため、福島商工会議所を中心として、新たなまちづくり計画が作成されている。

今回の大会では、復興事業が進められる中で現れた新しい都市基盤整備とまちづくりについて、関係する各種機関の関係者が参加される大会 WS などを通して検証し、これからのまちづくりについて考えていく契機を提供したい。

【主催】東北都市学会 【共催】日本都市学会
【後援】福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

【開催時期】 2016年11月19日(土)～20日(日)

【場所】 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z(福島駅東口)

【日程】

19日(土)

13:00～13:40	理事会
13:50～14:30	会員会
14:40～17:30	ワークショップ(参加費 1,000 円を予定)
18:00～20:00	懇親会(会費 5,000 円)

20日(日)

9:00	受付開始
9:30～11:30	研究発表

- 今年度は、諸事情により理事会と会員会が同日開催となります。
- 宿泊場所などは、各自でご手配下さい。
- 懇親会場は「笑門そば 峰亀 曾根田店」を予定しております。大会会場からは徒歩で2分ほどになります。多くの皆さまの参加をお待ちしております。
ホームページ：<http://www.minekame.com/entry1.html>

※参加の可否については、電子メール、または同封の発表申し込みハガキで10月14日(金)(必着)までにご返送下さい。

※発表要旨は事務局・田淵(tabuchi@fukushima-nct.ac.jp)へ11月4日(金)までに送信してください。

※ワークショップは、詳細が決まり次第、東北都市学会ホームページでお知らせし、10月下旬発送予定の大会案内に記載します。

福島市アクティブシニアセンターA・O・Z 交通案内

〒960-8051 福島市曾根田町1番18号 MAX ふくしま 4階

- ・ JR福島駅(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)東口より徒歩7分
- ・ 東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから車で約15分
- ・ 駐車場

MAX ふくしま有料駐車場利用可(2時間まで無料)、近隣に有料駐車場(民間)あり

※詳細は次ページの地図をご覧ください。

アクティブシニアセンターA・O・Z アクセスマップ



アクティブシニアセンターA・O・Z 周辺拡大案内



2014年度 東北都市学会 決算報告

貸借対照表(2015年3月31日現在) 単位:円

科目	金額	科目	金額
現金	0	次年度繰越	495,504
郵便貯金	476,595		
銀行預金	18,909		
合計	495,504	合計	495,504

収支計算書(自2014年4月1日 至2015年3月31日)

収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 前年度繰越金	425,757	425,757	0	
2 会費収入	749,600	490,000	259,600	団体0、一般個人・学生48、地域個人10(過年度分含む)
3 利息	100	100	0	
4 広告収入	0	0	0	
5 年報代収入	0	0	0	
6 大会参加費	30,000	25,500	4,500	大会参加者15名、エクスカーション6名
7 臨時的収入	0	0	0	
合計	1,205,457	941,357	264,100	

支出の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 印刷費	400,000	0	400,000	
2 郵送費	40,000	28,575	11,425	フォーラム27号、横手大会案内に関する切手、宛名ラベル等
3 事務雑費	30,000	21,661	8,339	事務用品、事務アルバイト等、振込手数料
4 旅費	50,000	0	50,000	理事会出席旅費
5 会議費	20,000	0	20,000	
6 委託費	0	0	0	テープ起こし料
7 研究活動費	30,000	0	30,000	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	150,000	119,617	30,383	2014年度八戸大会
9 ホームページ管理費	25,200	0	25,200	2014年度は次年度に振込のため
10 日本都市学会会費	278,800	276,000	2,800	2014年度 4,000円×82名×0.85
11 次年度繰越金	181,457	495,504	-314,047	
合計	1,205,457	941,357	264,100	

上記2014年度東北都市学会会計の決算を報告いたします。 2015年 8月 31日

東北都市学会会計担当 松本 行真

2015年3月31日現在の東北都市学会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

2015年 月 日

監事 阿見 孝雄

監事 斉藤 綾美

2015年度 東北都市学会 予算案

収入の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 前年度繰越金	474,993	425,757	
2 会費収入	690,000	490,000	団体3、一般76、地域29 納付率80%として算出
3 利息	100	100	
4 広告収入	0	0	
5 年報代収入	0	0	
6 大会参加費	30,000	25,500	
7 臨時的収入	0	0	
合計	1,195,093	941,357	

支出の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 印刷費	419,962	0	封筒、研究年報(200部 No.13)発送 支払済(6/16)
2 郵送費	30,000	28,575	フォーラム発送に関する切手、宛名ラベル等
3 事務雑費	40,000	21,661	事務用品、事務アルバイト等、振込手数料
4 旅費	50,000	0	理事会出席旅費
5 会議費	20,000	0	
6 委託費	0	0	テープ起こし料
7 研究活動費	30,000	0	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	150,000	119,617	2015年度盛岡大会
9 ホームページ管理費	25,200	0	2014年度、2015年度 (14年度7/27支払済)
10 日本都市学会会費	276,000	276,000	2015年度 4,000円×82名×0.85 (9/29半額支払済)
11 次年度繰越金	153,931	495,504	
合計	1,195,093	941,357	